

科目番号	37029	科目の分類	助産学実践領域	履修者	助産学専攻科	学年				
科目名 授業	助産診断・技術学 I Diagnosis and Nursing Skills in Midwifery I					1				
						担当セクター				
						前期				
教員名 担当	米山万里枝 / 和田佳子/島田祥子 /古川奈緒子 / 前田のぞみ /非常勤（医師）/他			区分	必修	単位数	3	時間数	90	
講義の到達目標及び概要										
助産を系統的に行うための診断技術の理論と実際を学ぶ。具体的には次の通り。										
<ul style="list-style-type: none"> ①助産診断過程に必要な概念や基礎理論 ②助産過程の展開方法 ③周産期における経過診断 ④正常からの逸脱を発見するための診査・診断の原理・目的・過程・援助方法 										
授 業 計 画										
1～2回 1. 助産診断の概念と枠組み【米山】					23～29回 4.産褥期の診断とケア【和田】					
3～10回 2. 妊娠期の診断とケア【島田】					1) 産褥の定義、産褥期の全身の変化					
1) 生理・心理・社会的な特性					2) 産褥期の心理社会的な変化と支援					
2) 心理・社会的な診断・ケア					3) 母乳育児支援					
3) 妊娠経過と助産診断					4) 退院後の支援（島田）					
4) フィジカルアセスメント					5) ハイリスク・異常褥婦の診断とケア					
5) 日常生活の適応とマイナートラブル					6) 産褥期の助産診断					
6) 助産ケアと保健指導					7) 助産ケアと保健指導					
7) ハイリスク・異常妊婦の診断・ケア					30～33回 5. 新生児期の診断とケア・養護【古川/米山】					
8) 妊娠期の助産過程					1) 早期新生児・新生児の生理					
11～22回 3. 分娩期の診断とケア【古川/米山】					2) フィジカルアセスメント・診断					
1) 分娩に関連する概念、分娩期の助産診断					3) ケアの実際					
2) 分娩Ⅲ要素と分娩機転					4) ハイリスク・異常児の診断・ケア					
3) 正常分娩の経過と母子に及ぼす影響					34～35回 6. 周産期における検査（医師）					
4) 分娩期における心理・社会的特徴					・胎児の出生前診断					
5) 分娩介助法①（前田）					・ME 機器による管理と評価					
6) 分娩介助法②（前田）					（CTG、超音波診断）					
7) フィジカルアセスメント（前田）					36～37回 7. 周産期に使用される薬剤（医師）					
8) 分娩期の助産診断					1)産科で行われる薬物療法					
9) 正常からの逸脱					（薬物効果および禁忌）					
10) 異常の診断とケア					2)胎児及び母乳への影響					
11) 産科麻酔・麻酔分娩					38～45回 8. 各期の助産過程展開の実際（全教員）					
12) 急遂分娩術の適応・禁忌 （吸引・鉗子分娩、帝王切開など）										
成績評価の方法		筆記試験 80%、GW 事例レポート 20%								
テキスト		吉沢豊予子編：助産師基礎教育テキスト第 2 巻 2017 年版 日本看護協会出版会 (ISBN: 978-4-8180-2022-1) 森恵美編：助産師基礎教育テキスト第 4 巻 2017 年版 日本看護協会出版会 (ISBN: 978-4-8180-2024-5) 町浦美智子編：助産師基礎教育テキスト第 5 巻 2017 年版 日本看護協会出版会 (ISBN: 978-4-8180-2025-2) 横尾京子編：助産師基礎教育テキスト第 6 巻 2017 年版 日本看護協会出版会 (ISBN: 978-4-8180-2026-9) 遠藤俊子編：助産師基礎教育テキスト第 7 巻 2017 年版 日本看護協会出版会 (ISBN:								

	<p>978-4-8180-2027-6)</p> <p>堀内成子編：助産学講座 5 助産診断・技術学 I 第 5 版 医学書院 (ISBN:978-4-260-01583-7)</p> <p>横尾京子編：助産学講座 6 助産診断・技術学 II [1] 妊娠期 第 5 版 医学書院 (ISBN:978-4-260-01613-1)</p> <p>我部山キヨ子他編：助産学講座 7 助産診断・技術学 II [2] 分娩期・産褥期 第 5 版 医学書院 (ISBN:978-4-260-01572-1)</p> <p>横尾京子編：助産学講座 8 助産診断・技術学 II [3] 新生児期・乳幼児期 第 5 版 医学書院 (ISBN:978-4-260-01577-6)</p> <p>NPO 法人日本ラクテーション・コンサルタント協会編：母乳育児スタンダード第 2 版 医学書院 (ISBN:978-4-260-02070-1)</p> <p>日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会編：産婦人科診療ガイドライン (産科編 2017) 日本産科婦人科学会</p> <p>仁志田博司：新生児学入門 第 4 版 医学書院 (ISBN:978-4-260-01433-5)</p> <p>細野茂春監：日本版救急蘇生ガイドライン 2015 に基づく 新生児蘇生法テキスト メジカルビュー社 (ISBN:978-4-7583-1732-0)</p>
参考図書	<p>荒木勤：最新産科学 正常編 第 22 版 文光堂 (ISBN:978-4-8306-3119-1)</p> <p>荒木勤：最新産科学 異常編 第 22 版 文光堂 (ISBN:978-4-8306-3121-4)</p> <p>我部山キヨ子他編：助産学講座 2 基礎助産学 [2] 母子の基礎科学 第 5 版 医学書院 (ISBN:978-4-260-01837-1)</p> <p>日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会編：産婦人科診療ガイドライン (婦人科外来編 2017) 日本産科婦人科学会</p> <p>我部山キヨ子他編：助産学講座 3 基礎助産学 [3] 母子の健康科学 第 5 版 医学書院 (ISBN:978-4-260-02173-9)</p> <p>我部山キヨ子他編：助産学講座 4 基礎助産学 [4] 母子の心理・社会学 第 5 版 医学書院 (ISBN:978-4-260-02186-9)</p> <p>日本助産診断・実践研究会編：実践マタニティ診断 第 4 版 (B5 版) 医学書院 (ISBN:978-4-260-02493-8)</p> <p>日本助産診断・実践研究会編：マタニティ診断ガイドブック 第 5 版 (B4 版) 医学書院 (ISBN:978-4-260-02445-7)</p> <p>医療情報科学研究所編：病気が見える 9 婦人科・乳腺外科 第 3 版 MEDIC MEDIA (ISBN:978-4-896-32462-4)</p> <p>医療情報科学研究所編：病気が見える 10 産科 第 3 版 MEDIC MEDIA (ISBN:978-4-896-32463-1)</p>
備考	<p>助産学を学ぶ上で根幹となる授業の 1 つです。確実な知識や診断能力を訓練し、根拠に基づく助産ケアを提供できるように学習していきましょう。</p>